

たんちょう通信

～ 第 88 号 ～



丹羽孝直

こんにちは、丹頂ガスの丹羽です。いつも「たんちょう通信」をお読みくださり、誠にありがとうございます。9月30日平尾町栄公会所をお借りして第3回目の「防災セミナー」を開催いたしました。今回も元自衛官の佐藤先生に講師を努めて頂きました。2回目に作成した「事業継続計画」(BCP対策)を下に、「BCPの役割分担」に従って、実際に地震が起きたと想定して、各自が冷静な行動ができるか「模擬訓練」をしました。地震発生時のシナリオは以下のとおりです。「10月下旬の四日市は、日ごと晩秋の色を濃くし、朝晩の気温は10度を下回るときもあります。時折、窓越しに外の様子を眺めながら、午後2時を少し回ったとき、壁がガタツと揺れたような感じがしました。ハッ?と周囲を見渡すと、突然突きあがるような揺れが足元から起こり、その後、社屋全体が激しく揺れだしました。ガタガタという大きな音と共に、キャビネットの一部が倒れ、机や棚の上のものは落ち、床は散乱しました。キャーと叫びながら、必死に机にしがみついています。1分ほどが過ぎても揺れは止む気配がなく、天井や壁は鈍い音を響かせながらゆっさゆっさと振動しています。それにしても長い、、、南海トラフ地震だろうかという怖れが頭の中をかすめました。」このシナリオの下に、「事業継続計画(BCP)組織図」の役割分担に従って、各自が「対処」していきましました。震災後は直ぐに、災害対策本部を立ち上げ、社長が本部長を務めます。まずは、社員の安否確認ですが、こんなに大きな地震では、通信機器の使用に制限が設けられると予測できます。固定、携帯電話は不通になり、したがって「171」緊急時伝言ダイヤルを使うことが考えられます。次にラジオをつけて情報収集をした上で、緊急対応班が会社周辺の被害状況を確認します。「主要道路、橋は通行可能か?」「お客様・地域住民の安否確認」「近隣家屋は倒壊していないか?」「建物周辺で地盤沈下はあるか?」「地滑り・地割れはないか?」「液状化現象が起きていないか?」「周辺での火災はないか?」の詳細の情報を収集に務めます。その後、社員の一人が「家族の安否確認がとれません、家に帰ってもいいですか?」と本部長に問いかけました。さあどう答えるか、私はとっさに「どうぞ、気を付けて帰ってください。」と答えました。すると佐藤先生より、「国道、県道の主要道路は、路面・橋梁点検、緊急輸送路のとするため、当分の間、全面通行止めになる可能性もあり、家までたどり着かない恐れがあります。まずは現状確認をした上で行動をとるべきであります。むやみに出かけることは避けなければなりません。」とご指導を受けました。なるほど、いかなる緊急時でも常に安全な行動をとることが大切で、最低でも3日間は会社で寝泊まりできるよう準備しておくことも必要でした。実際に地震が起きたらどうしようと不安がる社員もいましたが、全員が緊張感をもって臨場感あふれた「BCP訓練」が出来ました。これからも日々防災意識を持ち続けて参りたいです。引き続き、宜しくお願いいたします。

感謝





たんちょう隊の公式LINEはこちら!



住まいのちょっとしたお困りごとの解決方法をお知らせしています。

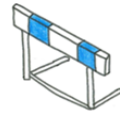
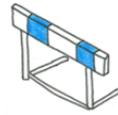


公式Instagramはこちら!

たんちょう隊の活動や、日常の様子を投稿しています。フォローお願いします!



TANCHOGAS



はろ ぐち み き
原口 未来

皆様こんにちは。入社2年目の原口未来です。

私は、中学高校と陸上部に所属していました。高校生の時は、10台のハードルを跳び超える400m走「400mH」を専門としていました。「400mH」は、ハードル間をどれくらいの歩幅で、何歩で走るかが大切になります。

高校2年生の時の大会で、私は準決勝まで進みました。準決勝には、16人が残り、3組に分かれて行われ、各組上位3位までが決勝にすすめます。準決勝の時、私は3位で300m地点を通過しました。しかし、最後の100mを走っている時、隣のレーンの人と横に並びました。私は、「この子に負けたら決勝に行けない絶対に勝たなければ」と思い焦って走ってしまいました。そのため、いつも練習で走っていた歩幅と変わってしまい、歩数が合わなくなり、ハードルをこかしてしまいました。結果、私は失格になってしまい、決勝に進むことが出来ませんでした。決勝を目指して練習していたので、とても悔しかったです。

この出来事で学んだことは、「急いでいる時こそ、冷静に対処すること」です。「何があっても焦らず、いつもと同じようにこなしていくこと」を心掛けるようになりました。これからも、学生時代のこの失敗を教訓にして、イレギュラーなことが起きても焦らず、落ち着いて行動していきたいです。

防災
コーナー

避難時の安全ポイント



住宅地では、屋根瓦やエアコンの室外機、ガーデニング用プランターなどの落下で負傷したり、命を落とす危険があります。繁華街やオフィス街では、看板やネオンサイン、ガラスの破片などの落下に注意しましょう。カバンやバッグで頭を守り、壁や塀、自動販売機、電柱から離れましょう。

火災時は煙から逃げる!



火災の煙は命を落とす危険があります。ハンカチなどで口、鼻を覆うなど、できるだけ正しい姿勢で煙を吸わないようにして移動します。大きめのビニール袋があれば、口、鼻を覆うことで、少しの間、空気を確保することもできます。煙で前が見えない場合、壁伝いに避難しましょう。